

ごのへ 議会だより

Gonoh Assembly News

議会広報
平成30年7月
第28号

第22回定例会(平成30年6月定例会)

第21回臨時会 …… 2
議員活動報告 …… 8

第22回定例会 …… 3
編集後記 …… 8

一般質問(4人) …… 4



『田植え・田の草取り唄と踊り』の奉納

「明治天皇ゆかりの歴史と郷土芸能を後世に伝えたい」と毎年7月12日に五戸町連合婦人会が披露している。

第21回 平成30年5月 臨時会

5月11日に1日間の会期で臨時会が開催されました。

議決件数 12件			
原案可決	同意	承認	認定
0件	0件	12件	0件

町長提出案件

専決処分の報告 2件

損害賠償額の決定

●道路上の舗装劣化による車両物損事故に関する損害賠償の和解の成立額の決定

○倉石コミュニティセンター駐車場敷地内

・損害賠償額

4万3千2百円

○町道下長下観音堂線
・損害賠償額

1万9千6百56円

*全国町村会総合賠償保険より支払
(報告は採決しません)

専決処分の承認 12件

条例の一部改正 3件

●五戸町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例

・指定居宅介護支援事業所の指定・指導監督権限が都道府県から市町村へ委譲されることに

よる条例制定



●五戸町町税条例の一部改正

・地方税法の一部改正に伴うもの

●五戸町後期高齢者医療に関する条例の一部改正

・高齢者の医療の確保に関する法律の一部改正に伴うもの

補正予算 9件

●平成29年度一般会計補正予算(第6号)

・補正額(減額)
△1億309万4千3百円
・予算総額
93億494万9千9百円
主な歳入増額
・町税
1億円

主な歳入減額

・繰入金

△2億434万5千8百円

主な歳出増額

・病院事業会計負担金

1億1500万円

主な歳出減額

・病院事業会計健診業務負担金

△2022万3千円

●平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)

・補正額(増額)
72万7千円

●平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第5号)

・補正額(増額)
1215万6千円

・予算総額
26億9303万3千円

●平成29年度下水道事業特別会計補正予算(第4号)

・補正額(減額)
△1195万円
・予算総額
4億0086万円

●平成29年度農業集落排水処理施設事業特別会計補正予算(第4号)

・補正額(減額)
△64万8千円

・予算総額
1億1570万8千円

●平成29年度簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)

・補正額(減額)
△142万6千円

・予算総額
9614万7千円

●平成29年度五戸町住宅用地造成事業等特別会計補正予算(第2号)

・補正額(減額)
△386万3千円

・予算総額
286万2千円

●平成29年度ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第4号)

・補正額(減額)
△234万3千円

・予算総額
2868万3千円

●平成29年度病院事業会計補正予算(第4号)

・補正額(増額)

繰入金

1億1500万円

・病院事業収益総額

29億2658万3千円

審議の結果

全員賛成で承認

専決処分の承認とは

議事が議決をしなければならぬ条例・予算などについて、時間的に議会の開催を待てない緊急の場合もあります。そのような時に町長が議会に代わって決断することを専決処分といいます。ただし次の議会で承認を得ないといけません。(専決処分が無効になることはありません)。

第22回 平成30年6月 定例会

6月7日から12日までの6日間の会期で定例会が開催されました。

議決件数 6件			
原案可決	同意	承認	認定
6件	0件	0件	0件

町長提出案件

報告 1件

- 一般会計繰越明許費繰越計算書

五戸代官所改修事業
725万9千円

条例の一部改正 3件

- 五戸町町税条例の一部改正

【内容】
・ 地方税法の一部改正及び生産性向上特別措置法の制定に伴う改正

- 五戸町放課後児童健全育成事業の設置及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

【内容】
・ 放課後児童支援員の資格要件拡大のため所要の改正

- 五戸町介護保険条例の一部改正

【内容】
・ 介護保険法施行令等の一部改正に伴う引用条文の改正

補正予算 3件

- 一般会計補正予算(第1号)

・ 補正額(増額)
3895万1千円

・ 予算総額(補正後)
90億8956万2千円

【主な内容】

・ ごのへ郷土館備品購入費等

- 国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

・ 補正額(増額)
283万2千円

・ 予算総額
22億9368万円

【主な内容】

・ 財政調整基金繰入金等

- 介護保険特別会計補正予算(第1号)

・ 補正額(増額)
191万2千円

【主な内容】

・ 予算総額
23億5194万9千円

・ 臨時職員賃金等

【審議の結果】

● 表彰審議会委員の指名
◎ 三浦 專治郎 議員

請願 1件

- 五戸町手話言語条例の制定を求める請願

・ 民生常任委員会へ付託

・ 常任委員会の審査結果

● 陳情 2件

- 地域別最低賃金の引き上げと全国一律最低賃金制の実現、中小企業支援の拡充を求める陳情

・ 総務常任委員会へ付託

・ 常任委員会の審査結果

● 不採択

- 日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し国会が批准することを求める陳情書

・ 総務常任委員会へ付託

・ 常任委員会の審査結果

● 採択(願意妥当・意見書の伴う議案提出案件)

● 審議の結果
全員賛成で可決

八戸市議会視察

五戸町議会の活性化を図るとともに、広聴、公報及び情報公開等を充実し、町議会の自律と役割を高めて町民に親しみやすい町議会を実現することを目的とした議会改革検討委員会を平成24年に設置し活動してきた。

今回は、八戸市議会で導入している議会資料のペーパーレス化を図ったタブレット端末の活用、

政務活動費の交付(町政に関する調査研究、その他の活動に要する経費)について視察研修した。

研修期日
平成30年5月21日

参加委員
議会改革検討委員会

委員長 高山 浩司
委員 鈴木 隆也
委員 大沢 義之
委員 若宮 佳一
委員 尾形 裕之

委員 松山 泰治
議長 和田 寛司
副議長 古田 陸夫
以上8名

八戸市議会よりタブレット端末導入の経緯について、紙使用量の削減、情報伝達の迅速化などの説明を受けた。

政務活動費においては、交付方法、交付額、精算方法等説明を受けた。





とよ た たか お 豊田 孝夫 議員

6月定例会では4人の議員が一般質問を行いました。一般質問は、一般行政、教育、選挙、農地行政など町が行う行財政全般について質問できます。

◆農作業委託の受け入れ先を探す方法は

町長 紹介窓口の設置を調査検討する余地はある

質問① 農家の人手不足を補うための具体的方策とこれに対応出来るような組織や団体は当町にあるのか。

答三浦町長

全国的に労働力不足が進んでいるが、他町村と同様で当町としても特別な対策をしていない。県内の農協では農業の補助力として、無料職業紹介所を立ち上げる予定となっているとの情報があるため頼りにしたい。

質問②

他市町村に見受けられるシルバー人材センターなるものはどのような仕組みになっているのか。

答三浦町長

公益社団法人として、高齢者を会員として登録し、依頼された業務に応じた人材を派遣している。

質問③

以前にもシルバー人材センターの必要性について質問があったと思うがその後の経緯と町独自で組成する考えはないか。

答小村総合政策課長

五戸町社会福祉協議会に出向き設立の依頼をしたが、業務量の問題等で前向きな回答をもらえなかった。連携中都市圏で取り組み可能かどうか意見を投げかけたい。

質問④

農作業の委託をしたいときは、どのようにすればよいのか。

答三浦町長

町では大規模な営農組合や法人等を紹介している。担い手確保については関係機関と連携を取って行っている。また、紹介窓口の設置については、調査検討の余地はある。

◆都市と農村の交流を図る具体的方策は

町長 農業体験、民泊、グリーンツーリズムは効果的

質問① 当町におけるグリーンツーリズムの現状は。

答三浦町長

平成22年青森五戸グリーンツーリズム協議会が発足。現在15戸の農家が参加。郷土料理作りや日帰り農業体験、農家民泊など行っているが、構成農家の増加を図ることが課題となっている。

質問②

農産物直売所、観光農園の現状は。

答三浦町長

直売所としては、平成18年4月に「ふれあい市ごのへ」と指定管理の契約を結び運営。また、観光農園は、倉石又重地区

質問④ 農家民宿と農家民泊の大きな違いは。

答三浦町長

民宿は、簡易宿泊所として様々な要件を満たす必要がある。民泊は、宿泊料はもらえないが食事代や体験料はもらうことができる。

質問⑤

遊休農地を市民農園として活用することを考えてはいないか。

答三浦町長

町では平成20年、22年に上市川地区に合計69区画開設したが、年平均4名の利用者であったため、25年に閉鎖した。現時点で開設の計画はないが、遊休農地の活用として有効であると考えている。



グリーンツーリズムの様子

一般質問



おがた ひろゆき
尾形 裕之 議員

◆五戸高校廃校に落胆！今後何をもって

町民に希望と勇気と元気を与えていくのか

町長 創生総合戦略の着実な推進を図ること
で応えたい

質問③

住民協議会の進捗状況は。

答三浦町長

まちづくり推進協議会が先行実施団体の視察を行い、住民協議会設置の方向性が決定された。現在、原案をまとめている。

質問⑤

地消地産条例、乾杯条例はどこまで進んでいるのか。

答三浦町長

町民から意見をいただきながら地元での買い物運動に取り組み、町民の機運醸成を図ったうえで検討したい。

答三浦町長

実行委員会から予算の関係で依頼困難であると伺っている。

質問⑧

「おんこちゃん」を認定キャラクターとしたが今後どうするのか。

答三浦町長

平成30年5月17日に認定した。今後は当町PRに関する各種事業や人口増加対策関係に活用していく。

質問⑨

選挙投票所の数を見直しているようだが、消防自動車の配備数も見直しは。

答三浦町長

消防団と検討する。

質問⑩

障がい者の働く場を増やす努力をするべきでは。

答三浦町長

努力する。

質問⑪

手話言語条例の制定について町長はどう考えるのか。

答三浦町長

諸団体と連携を模索し、動向を見ながら検討する。

答三浦町長

10月1日より乳幼児は所得制限の基準を約2倍に緩和する予定。小中学生は今後検討する。

質問⑬

SNS観光地として町を売り出すことを考えていないのか。

答三浦町長

当町の観光客の受入態勢、観光コンテンツの状況などを考慮すると、现阶段では難しいと考えている。

質問⑭

出生数を平成27年度と平成29年度を比較すると他町村は減少しているが、当町は増加している。若年者定住支援事業は成功しているのでは。

答三浦町長

定住に一定の効果はあったものとして認識している。

質問②

五戸高校廃校に、多くの町民は落胆している。今後、何をもって町民に希望と勇気と元気を与えていくのか。

答三浦町長

アンケート調査を実施しながら創生総合戦略の着実な推進を図ることで応えたい。

質問④

ブランドフード協議会はどのようにしていくのか。

答三浦町長

共通メニューの開発のために立ち上げたが、各飲食店に合った独自メニュー開発に移行するべきことから、当該協議会は解散に至った。

質問⑦

ごのへ夏まつりへの芸能人の出演依頼はどうなったのか。



五戸町PR動画の一部

質問⑫

乳幼児から中学生までの医療費給付助成に所得制限があるが、そろそろ撤廃する考えは。



鈴木 隆也 議員

◆「このへ郷土館」の意義を如何に波及させるか

教育長 郷土学習や文化交流活動の拠点とする

が閉校となった後、検討委員会が発足し事業が開始された。

総事業費は、設計や監理業務の委託料として1億142万円。施設の改修などの工事請負費が1億5497万8千円。合計2億5639万8千円。

また、指定管理料は8万円。

質問①

「このへ郷土館」の建設に至った経緯と総事業費は。

また、指定管理料は8万円。

豊間内小学校の廃校が決定された後、廃校舎利用について、地元自治会から「校舎は歴史資料館として整備し活用したい」という要望が出された。

町では「五戸町・倉石村合併まちづくり計画」の中で「埋蔵文化財・郷土資料保存利活用プロジェクト」の内容に合致していることから、平成26年3月に豊間内小学校

が閉校となった後、検討委員会が発足し事業が開始された。総事業費は、設計や監理業務の委託料として1億142万円。施設の改修などの工事請負費が1億5497万8千円。合計2億5639万8千円。指定管理料は年間72万円。

質問②

来館者の数値目標は。

答 柳町教育長

見学者については県内の類似の3施設を参考に年間1200人を見込んでいる。

また、見学者以外では、体験交流事業や活動室利用者など合わせて950人を見込んでいる。

質問③

来館者を飽きさせないための取り組みは。

答 柳町教育長

新規収蔵資料等を中心に常設展示の一部替えを年数回実施する計画。

また、年1回程度の特展展示を考えており、今年度は南部鉄道に関する資料や三八地域出土の埋蔵文化財の展示を計画。

質問④

「このへ郷土館」の存在意義を波及させるために、それを如何に利活用するか。

答 柳町教育長

当施設は五戸町の文化財を調査収集、収蔵保存、展示して一般公衆の郷土

学習に資するとともに、文化交流活動の拠点施設とすることを目的とする。

町独自の文化財を展示

したり伝統技能に触れられる体験教室を開催したりし、町内外の方々に来館していただく。

◆第2の上市川団地の造成は

町長 財政状況を考えると町独自では厳しい

質問①

空き家バンクの現状は。

答 三浦町長

平成30年6月現在で3件の登録。

質問②

農地を宅地に用途変更する際の問題点は。また、その問題を解決する町独自の施策は。

答 岩井農業委員会会長

農業振興地域の整備に関する法律（農振法）により、農地を宅地に用途変更することは厳しく制限されている。農振を除外できても転用許可の手続きも含め、多くの時間を要する。

また、このことは県の管轄で有り、問題を解決する町独自の施策はない。

質問③

町営住宅を各地域に建設できないか。

答 三浦町長

ひばり野団地やコスモス団地など、現在205戸の町営住宅があるが、他の地域における必要性を検討していく。

質問④

五戸町に住みたくても適当な物件、宅地が少ない。第2の上市川団地をはじめ、町で団地を造成しては。

答 三浦町長

現在の財政状況を考えると町独自では厳しい。ただ、民間が主導し団地を造成した際、規格を満たした取付け道路は町道認定し町が管理したり、公共下水道を町が整備したりする考えがある。官民で協力し住宅の問題に取り組んでいく。

一般質問



かわさき しちひろ
川崎 七洋 議員

◆多子世帯への支援を拡大しては

町長 今後重点的に検討する

質問①

五戸町の創生総合戦略の目標人口は、国立社会保障・人口問題研究所の予想人口と比べて2040年は約1・15倍の1万2745人、2060年は約1・5倍の1万10人を達成するとしている。現状の施策では達成が困難のように思われるが、達成までの道筋は。

質問②

目標人口の達成には合計特殊出生率の向上が大切である。総合戦略では2030年の目標を1・8、2040年までに2・07に向上させる計画だが、これまでの施策でどの程度の成果が出ているのか。

質問③

他の自治体の事例などの調査はしているか。

答 小村総合政策課長

調査をしている所だが、町全体で子育てをしている環境が整っているとこは出生率が高いと考えている。高齢者の協力を得て子供の見守りをしてもらうなど、昔のように地域で子供を育てるという環境を再現できるように施策を進めたい。

質問④

岡山県奈義町では2014年の合計特殊出生率が2・81と高い数値を記録している。多子世帯に対する支援が非常に手厚い自治体であるが、町でもこの方針を見習うべきではないか。

答 三浦町長

町では多子世帯支援商品券発行事業を実施している。今後は重点的に、しっかり検証しながら考えていきたい。

要望

奈義町は高校生までの医療費無料化や奨学金の返済減免など本当に手厚い支援をして効果を出している自治体であるが合計特殊出生率が2・0を下回っているという現実がある。当町の2・07の達成は非常に高いハードルと認識して今後頑張っていたきたい。

◆地域別の人口増や産業別の就業

人口増の計画はあるか

町長 そういった計画及び施策はない

ない

質問①

総合戦略の人口ビジョンには目標人口が定義されているが、どの地域にどの程度の人口を増やす、あるいはどの産業にどの程度の就業人口を増やすというような詳細な計画はあるか。

答 三浦町長

特定の地域や特定の産業を重点にするということとは考えていないが、それぞれの地域によって性の違いはあると思っっている。以前より五戸町はベッドタウンがふさわしいと思っっているが、サラリーマンだけで町が成り立つことはないの、従来の産業にも力を入れる必要があり、施策をどのように組み合わせるかが重要だと思っっている。

答 三浦町長

総合戦略は国の法律、策定指針等に基づいて策定しており、そのような計画及び施策はない。

質問②

各地域にはそれぞれ特色があるので、その特色に注目して振興を図っていく必要があるのではないか。

要望

人を定住させるには仕事を創出することが重要と考える。町民も努力する形をつくっていききたいと思うので町ももっと頑張っていたきたい。

答 三浦町長

本年度は次期総合戦略策定に向けた準備をはじめめる。その一環として住民アンケートを実施し、内容を分析して施策の絞り込みを図る。

【合計特殊出生率とは】

一人の女性が出産可能とされる15歳から49歳までに産む子供の数の平均



五戸地区議会議員研修会

平成30年4月26日、新郷村美郷館にて五戸町議会議員と新郷村議会議員で構成されている五戸地区議会議員の研修会が開催され、五戸町議会議員は14人が出席しました。

講演 「地域資源を活用した商品づくりや販路開拓に取り組みませんか。」

講師 青森県商工労働部地域産業課 地域資源活用推進グループ 主幹 桜庭 誠 氏



町村議会広報研修会

平成30年5月24日、青森市において議会広報を作成するための研修会が開催され広報常任委員4人が出席しました。

講演 (1)「読まれる議会だよりの編集と表現」
(2)「議会広報のクリニック」
(ふかうら議会広報、のへじ議会だよりの、さい議会だよりの、田子町議会だよりの、よもぎた議会だよりの)

講師 グラフィックデザイナー 長岡 光弘 氏



五戸町議会議員の実像

区分	五戸町	八戸市
議員報酬	226,000円/月 期末手当年2回(昇給なし)	597,000円/月 期末手当年2回(昇給なし)
政務活動費	なし	80,000円/月

議員年金 2011年に廃止 退職金 支給なし
全国的に広がる町村議会議員の成り手不足問題は、この様な議員待遇にも起因していると思われます。現在、議会改革検討委員会ではこの様な問題が起こらないよう、改善を議論しております。(関連記事3P) 住民の皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

編集後記

2018年6月、旧豊間内小学校を利用した「このへ郷土資料館」が開館しました。これまで五戸町の文化遺産を保存する場所がなかったことを考えると、非常に意義のある施設が生まれたと感じています。

サッカーの町として名を挙げたことも五戸町の立派な文化であり、そんな町の住民として先のサッカーワールドカップも並々ならぬ思いで応援しております。決勝トーナメントで敗れたものの、世界ランク3位のベルギーに対してあと1歩まで迫る健闘ぶりからは手倉森誠コーチの魂を感じることができ、胸が熱くなりました。

手倉森誠コーチをはじめ五戸からは多くの著名人が輩出されています。郷土資料館の役割は非常に重要なものです。形骸化しないように、そして次の時代の礎となるように、官民一体となって盛り上げてまいりましょう。

副委員長 川崎 七洋

議会を傍聴してみませんか

9月定例会は9月6日開会予定です。
詳しくは議会事務局まで
TEL 62-2111 (代表)
日程が決まり次第「五戸ちゃんねる」五戸町ホームページでもお知らせします。

次回の議会だよりは、平成30年10月発行予定です。

発行責任者 議長 和田 寛 司
委員 長 川 豊 孝 夫
副委員長 川 崎 七 洋
委員 鈴木 隆 也
委員 大久保 和 夫
委員 高山 浩 司
委員 高宮 佳 一
委員 若宮 裕 之
委員 尾形 裕 之

広報常任委員会